

パッシブハウスと環境共生の建築を体感する旅へ

# Eco-Bau Tour 2014

第18回 ドイツ・スイス エコバウ建築ツアー2014

Germany & Switzerland



2014.9.14(SUN)-9.22(MON)





Germany & Switzerland Eco-bau Tour 2014.9.14-9.22



# 第18回 ドイツ・スイス エコバウ建築ツアー2014

Germany & Switzerland Eco-bau Tour 2014.9.14(SUN)-9.22(MON)

## 持続可能な環境共生の素材と北ドイツ・スイスの最新エコロジー建築の旅

今年は、南西ドイツに位置するフランクフルトから旅を始め、ドイツ第二の都市ハンブルクへと北上します。ドイツ国内では、パッシブ基準をクリアする建築の視察、ドイツが推し進める環境推進の街づくりを体感して頂きます。途中、ウェルツェン市郊外にあるリポス社を見学し、リポスの製品が生まれる工場にてリポス社の哲学をお話しします。昨年International Building Exhibition(IBA)が開催されたハンブルクでは、持続可能で環境に優しい建築が立ち並ぶバランスのとれた街が広がります。そこで、IBAのプロジェクト建築や再開発が進むハーフェンシティの視察を予定しています。

その後は空路にてスイス チューリッヒへ。環境ジャーナリストの滝川 薫様をコーディネーターに迎え、スイス漆喰のメーカー

協力による施工物件の視察や、スイスのエコ住宅、建物省エネ化政策についてレクチャーいたします。

2020年の新築住宅 省エネ義務化の動きが本格化すると、躯体や設備の性能を高めることだけが注目されます。しかし本当にそれだけで良いのでしょうか？ 住まう人が心地よく暮らせること、後世に残り続ける家や街の景観、それぞれに資産価値を生み出すことを考える必要があります。

未来に残すべき日本建築のカタチとは？ 持続可能な環境共生の暮らしのあり方とは？ これからの日本建築の課題に、旅を共にする仲間達と一緒に考えを深めてみませんか。

### POINT 1 関係者の解説付きでの豊富なエコ建築の視察

建築に携わった関係者が合流し、設計コンセプトや構造、性能を説明してくれます。建築に関わった現地スタッフから貴重なお話が聞ける機会です。



### POINT 2 パッシブハウス、エコ建築を肌で感じる

そこに暮らす人たちが建築士の立会いのもと、エコロジー住宅・建築を視察します。また、エコロジーなコミュニティーを広げる住民連との交流は、持続可能な暮らしを肌で感じる機会です。



### POINT 3 同じ志を持つツアー仲間と未来の建築を考える

これからの日本の住宅・建築を考える志の高いツアー仲間との旅は互いに刺激し、共感することばかり。だからツアーに参加された方々は、帰国後も交流を持たれています。



個人では手配できない建物内部の視察もあり、大変充実した内容です。

志を共にする仲間達と一緒に、建築から始まるエコロジーを体感する旅へ。

# 第18回 ドイツ・スイス エコバウ建築ツアー 2014 日程表 2014年9月14日(日)～22日(月)

日付	場所(通訳)	プログラム
9/14(日)	NRT(成田)・KIX(関西)	成田・関西から出発～フランクフルト
9/15(月) 	フランクフルト カッセル (グリム 以智子氏)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ABGホールディング パッシブハウス内にてプレゼンテーション</li> <li>■省エネハウス (複数家族の住宅)</li> <li>■ZUBセンター エコロジー建築 (省エネの発展)</li> <li>■エコロジー建築 建築家Minke氏 (戸建住宅)</li> </ul>   
9/16(火) 	ヴィーレン ハンブルク (グリム 以智子氏)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■リボス社の視察</li> <li>■BSUハンブルク 管理棟、街づくりのモデルと指導 プレゼンテーション</li> <li>■IBA DOCK (IBAプロジェクト建築)</li> <li>■Wood Cube (IBAプロジェクト建築)</li> </ul>     
9/17(水) 	ハンブルク (グリム 以智子氏)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ハーフェンシティ大学 新しく変わる大学建築 プレゼンテーション</li> <li>■ハーフェンシティ(実験的建築、等)</li> <li>■森の家(実験的建築/ホテル)</li> </ul>  
9/18(木)  	ハンブルク チューリッヒ	ハンブルク→チューリッヒへ空路にて移動 ホテルチェックイン後、自由行動
9/19(金) 	チューリッヒ (滝川 薫氏)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■スイス漆喰施工建築の視察</li> <li>■パッシブハウス</li> </ul>   
9/20(土) 	チューリッヒ ルツパースヴィル シュプライテンバハ ヒュットウィレン (通訳兼コーディネーター) 滝川 薫氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>■プラスエネルギー住宅 建築家ヴェルナー・セッツ氏のプレゼンテーション 「省エネ建築のプラスエネルギー化と実測からの経験」 ミネルギーP-Eco基準のプラスエネルギー三世帯住宅</li> <li>■環境常設展示施設「環境アリーナ」自由見学</li> <li>■「スイスの建物省エネ化政策」レクチャー</li> <li>■ミネルギーPの戸建て建築を見学 パッシブハウス推進協会の建築家による案内</li> </ul>    
9/21(日)	チューリッヒ	■空港 チューリッヒ～成田・関西へ 22日(月)成田・関西着

Fotos: Setz Architektur / Honegger Architekten / Bauatelier Metzler

※ツアープログラムは諸事情により変更する場合がございます。予めご了承ください。

Germany & Switzerland Eco-bau Tour 2014

## Tour coordinator Profile



ツアーコーディネーター&コンダクター

**ホルガー・ケーニツヒ Holger König**

1951年ミュンヘンに生まれ、ミュンヘン工科大学、および同大学院で建築を学ぶ。1983年エコロジー建材店および家具工房の「ホルツ・ケーニツヒ」を設立。また、妻とともにケーニツヒ・フェリケリウス建築設計事務所を主宰し、パッシブハウス・パッシブエコロジーを踏まえた住宅、幼稚園、学校を数多く手がける。建築家、家具職人、建材流通といった多様な経験を経て、1996年より「エコ・プラス社」を設立し、建材の品質認定およびコンサルタントに携わる。

主な著書は「健康な住まいへの道パッシブハウスとパッシブエコロジー」(建築資料研究社2003)、「断熱材とその利用法」、「小屋裏空間」(1996, Freiburg)などがある。



環境ジャーナリスト

**滝川 薫 (スイス ベルン州 在住)**

スイス  
Switzerland

環境ジャーナリスト、MT Energy Vision社 共同代表。

1975年、日本・千葉県生まれ。東京外国語大学イタリア語学卒業。1999年よりドイツ語圏スイスを拠点に環境・エネルギー・建築をテーマに取材、スイスや日本の専門誌へドイツ語および日本語で寄稿。多数の調査、視察セミナー、通訳・翻訳、講演活動を手掛ける。2012年にMT Energy Vision GbR社を村上敦及び池田憲明と共同設立。視察やセミナーを通じて、再生可能エネルギーと省エネルギーをテーマとして、欧州中部から日本へのノウハウトランスファーを行う。

主な著書『サステナブル・スイス』(単著 2009, 学芸出版社)、『100%再生可能へ欧州のエネルギー自立地域』(編著 2012, 学芸出版社)など

建物分野はスイスの脱原発・脱化石エネルギーを目指すスイスのエネルギー政策の最重要の分野です。スイスの建物の省エネ化政策は三つの柱から成っています。80年代からの規制基準の段階的強化、90年代からの任意認証であるミネルギー基準、そして省エネ改修の促進です。こういった政策により建設市場の省エネ技術レベルが高められてきました。今回の視察では、戸建てを中心としながら、様々な技術を活用したミネルギー・Pやミネルギー・P・エコ建築、それに太陽光発電を組み合わせたプラスエネルギー建築の事例を見て行きます。

スイスの人の考える省エネやプラスエネルギー建築を実際に体感し、設計者の方々と直接に意見交換することにより、参加者の皆さんのお仕事への具体的な刺激として頂きたいと思っています。(滝川)

**主催** 第18回エコバウ建築ツアー 実行委員会

**実行委員会事務局**

株式会社 イケダコーポレーション

運営:株式会社 イケダコーポレーション

昨年までのエコバウツアー体験記はホームページをご覧ください

<http://www.iskcorp.com>